

二代目神田山陽 没後十七年

日本講談  
協会主催

山翁まつり

神田紅葉を偲んで

平成二十九年

十月三十日(月)

開場 十七時三〇分  
開演 十八時〇〇分

■場所 お江戸上野広小路亭

○三ー三八三三ー一七八九

■木戸銭 前売二、〇〇〇円

当日二、五〇〇円  
(全席自由)

■お問合せ・ご予約

kandayamabuki@gmail.com

【出演】

松鯉・紅・山吹・阿久鯉・鯉栄・蘭

松之丞・真紅・寿ニツ目昇進紅佳 「神田紅葉物語」口演

みのり・桜子



◆ 神田紅葉 ◆

銀行員から結婚後3人の子供を育て、平成13年50歳で神田紅に入門。平成18年ニツ目昇進。平成28年、真打昇進目前の5月に末期の胆のうがんが見つかるも、同年9月に真打昇進披露を敢行。戦後では史上最年長、65歳での真打昇進を果たしたが、平成29年7月25日永眠。66歳。得意演目「鉢の木」「五郎正宗孝子伝」ほか、小泉八雲の作品など。

● 山翁まつりとは

明治四十二年、東京日本橋に生まれた二代目神田山陽は、昭和十年大谷内越山の門をたたいて以来、九十一歳で他界するまで、実に六十五年に渡り講談師として活躍しました。

そんな二代目山陽に魅せられ、門をたたき育てられた弟子たちにも、それぞれ弟子ができ、二代目山陽が身罷って早いもので十七年。

昨年は、十七回忌の法要も日本講談協会できりおこないました。日本講談協会では、二代目神田山陽の命日である十月三十日に、師を偲んで、毎年「山翁まつり」を開催しています。

